

6月定例議会で審査した陳情の委員会意見と、委員会での審査、本会議での採決結果を報告します。

みなさんからの陳情はこうなりました

陳情の内容	陳情者	委員会の意見・結果	付託委員会名	本会議採決結果
大山町議会議員政治倫理条例の改正に関する陳情書	佐伯 祐治	平成21年2月制定の大山町議会議員政治倫理条例は、今期の議員間でも、修正の方向にある。しかし、陳情書の改善策と議会の修正が合致するか不明であり、議会での修正審議を待たなければならない。全会一致で趣旨採択。	総務	趣旨採択に賛成13人 反対4人
2013年度国家予算編成において、教育予算拡充を求める陳情書	鳥取県教職員組合西部支部 支部長 金本 仁	子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤づくりに極めて重要。教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、国負担を2分の1に還元する必要がある。採択4人、趣旨採択1人で採択。	教育民生	全会一致
最低賃金の引き上げと安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充を求める「意見書」採択の陳情	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	最低賃金引き上げは理解するが、金額・全国一律賃金について意見書内容の認識が一致しなかった。採択1、趣旨採択2、不採択2となり、委員長採決により趣旨採択。	総務	趣旨採択に賛成9人 反対8人



最低賃金の引き上げは？

本会議での質疑

【竹口議員】

①大山町議会の申し合わせで趣旨採択はしないとなっている。継続審査をしても採択・不採択の結論を出すべきだと思うが、趣旨採択とした理由は。

②今後も総務委員会では趣旨採択を容認するのか。

【答】椎木委員長

①この陳情と同内容のものが、平成21年6月に提出され採択している。委員会の採決では趣旨採択と不採択が同数だったので、不採択は適当でないかと判断した。

②基本的には、採択・不採択の結論を出さなければならぬと認識している。

【大森議員】

①社会情勢を考えれば、趣旨採択でなく採択すべき。どのような議論があったのか。

②最低賃金を1000円にしろという内容ではない。陳情者の要求を添削して意見書を提出するなどの議論はあったのか。

【答】椎木委員長

①最低賃金が1000円というのは、鳥取県で考えれば高額になるが、東京都で考えれば高額ではない。ヨーロッパ各国では統一賃金があると認識しているが、日本にはそぐわない。

②検討したが、この結論となった。

討論

【大森議員】

ワーキングプアが増大しており、若い人たちの所得が下がって生活保護の受給者も増えている。消費が伸びず、中小企業の経営難で失業も増え、少子化につながっている。所得を増やすことは、問題解決の決め手。好循環に変えるためには、最低賃金を上げなければならぬ。積極的に採択して、政府を応援するためにも、意見書を出すべきだ。